

2008-09年度 第1四半期オンタリオ州財政

2008/07/03

●● 財政見通し

電子メールによる通知サービス

オンタリオ州についての最新情報を入力するには、www.ofina.on.ca をご覧の上、電子メールによる通知サービスにご登録ください。

- 債券発行
- OFA 公報
- ウェブキャスト
- 借入プログラム
- IR プレゼンテーション
- その他のイベント

- ・ 2008年度予算で発表された財政計画では、2007-08年度の黒字は6億ドルとなり、2008-09年度から2010-11年度にかけて財政均衡を引き続き達成できる見通しが示された。
- ・ 2008-09年度第1四半期の財政結果からも、政府が2008年度予算で示した予算均衡は実現の見込みが高いことが明らかとなっている。歳入は969億ドル、歳出総額は962億ドルとなる見通しで、どちらも2008年度予算で示された財政状況から変化していない。
- ・ 2008-09年度歳入見通しに対するリスクには、2008年の民間部門の平均実質成長率の低下と、金融セクターの損金処理に関連した法人税の減収リスクが含まれている。しかし、2008年の賃金、給料および小売売上高の増加を含む他の経済指標に関する歳入見通しは引き続き賢明なものである。
- ・ 2008-09年度の現在の財政見通しにおいて、オンタリオ州の経済動向の変化に起因するものを含め、州の歳入および歳出の見通しにおける急激な変化から財務計画を守る為の準備金は引き続き8億ドルである。同時に、州政府は慎重かつ規律ある財政運営方針を維持している。
- ・ コンセンサス予想は、オンタリオ州の経済成長率は2008年度予算の予想よりも減速すると予測している。しかし、これが州の歳入および歳出の見通しにどのような影響を与えるかを現時点で判断することは時期尚早である。このため、州政府は引き続き、経済・財政見通しに対するリスクをモニターし、財政目標の達成に取り組むと同時に、州の経済成長と雇用創出を目指す重要5項目からなる経済計画を推進するために投資を継続する意向である。
- ・ 2007-08年度の最終結果は、夏の後半にオンタリオ公会計で発表される予定である。2008年度予算で示された6億ドルの黒字が達成されたかどうか、そして新しい2008年オンタリオ州投資法 (*Investing in Ontario Act*) が適用になるか否かも、この時オンタリオ公会計によって明らかとなる。
- ・ 中期財政見通しの最新情報は、予想よりも鈍い経済成長に対する財政管理計画を含め、秋の2008年財政・経済見通しで発表される。

| 財政概要 (10億ドル) | 中間 2007-08 | 2008-09 | | |
|-----------------|---------------|----------|------------|----------|
| | | 予算 計画 | 現在 見通し* | 年間 変化 |
| 歳入 | 96.6 | 96.9 | 96.9 | — |
| 歳出 | | | | |
| プログラム | 87.0 | 87.3 | 87.3 | — |
| 負債に対する利息 | 9.0 | 8.9 | 8.9 | — |
| 歳出合計 | 96.0 | 96.2 | 96.2 | — |
| 準備金 | — | 0.8 | 0.8 | — |
| 黒字/(赤字) | 0.6 | 0.0 | 0.0 | — |

注：四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。*上記は2008年6月30日現在の第1四半期財政見通しである。

当公報はオンタリオ州融資局によって編纂されました。この文書の内容は一般的な情報としてのみ使用されるべきものであり、証券の売買を示唆或いは推奨するものではありません。公報の内容はいかなる証券委員会にも承認されておらず、証券購入の判断材料として利用するには不十分です。内容には電子データの変換、ダウンロード、無許可の変更等を原因とする誤りが含まれたり、情報の一部が欠落している可能性があります。この公報にある記述は1995年米国民事証券訴訟改革法の意味範囲において、“将来の予測記述”です。このような将来を予測した記述には、不確実さ、リスク、その他の要因が明示的または黙示的に含まれているため、オンタリオ州経済の実態が予測や経済的見通しとは大きく乖離する可能性があります。オンタリオ州は証券取引法或いは条例で定められている場合を除いて、新しい情報や将来の出来事、又はそれら以外の情報を将来の予測に反映させ内容を更新する義務を負いません。この文書の内容は発行された時点において信頼できる内容であると信じられたものですが、この文書に含まれる情報の正確さ及び完全さについては一切保証しません。

●● 経済見通し

- ・ オンタリオ州の2008年の成長率は、2007年の2.2%に続いて穏やかなものになると予想される。同州は前年に引き続き、低調な米国の需要とそれに関連した金融市場の混乱、石油価格の急激な上昇、カナダドル高の継続、台頭する新興工業経済国との競争の激化、自動車業界のリストラなどの外的要因の影響を受けている。
- ・ 2008年度の見通しは、主に石油価格の急騰とオンタリオ州の輸出品に対する米国からの需要が予想よりも弱いことを受けて、3月予算の見通しより悪化している。6月27日の時点で、民間部門の予測家は、2008年のオンタリオ州の実質GDP成長率は、2008年予算の予測から1.2%減少した、平均0.6%になるとしている。
- ・ 2008年予算で財務省が示した見通し(1.1%)は、予算編成時点では民間部門平均予測値を下回っていた。
- ・ 民間部門の予測家は、2008年の名目GDP成長率(現在の為替で計算)は、平均して2.7%増えると予測しており、オンタリオ州予算時の3.0%よりも若干低くなっている。

●● 経済の動向

- ・ オンタリオ州の実質GDPは2008年第1四半期に0.3%低下した(年率換算で1.4%)。実質GDPの減少は主に、企業在庫の大幅な価値減少と低調な設備投資、継続的な輸出の低迷によるものである。
- ・ オンタリオ州は5月に1万1200件の新しい雇用を生み出し、4月の1万2200件増に続いて伸びている。失業率は6.4%であった。昨年12月以来、新たに創出された雇用は8万700件に達している。2007年のオンタリオ州の雇用は10万1100件増加し、1.6%の増加率を示した。
- ・ 2008年初頭から4ヶ月間で、オンタリオ州の小売売上高は2007年同期間と比べて6.5%増加した。
- ・ 5月のオンタリオ州CPIインフレ率は1.8%(前年比)で、4月の1.3%から上昇した。前年同月から8.9%増加したエネルギー価格を除くと、5月のCPIインフレ率は4月の0.8%から上昇して1.1%となった。
- ・ オンタリオ州の4月の住宅販売件数は、前年同月から4.8%減の2万174戸となり、5ヶ月連続での減少となった。2008年初頭から4ヶ月間で、住宅販売件数は前年同期間と比べて9.3%減少し、6万566戸となった。本年度の平均住宅販売価格は現在までに4.8%増加している。
- ・ オンタリオ州の5月の住宅着工数は7.0%減の7万1200戸で、3ヶ月連続で減少した。2008年初頭から5ヶ月間の年初来ベースでは、都市部の住宅着工数は2007年同期間と比べて21.4%増加した。
- ・ オンタリオ州の4月の製造業売上高は1.4%増の229億ドルである。2008年初頭から4ヶ月間の製造業売上高は前年同期間と比べて9.0%減少した。
- ・ 4月のオンタリオ州の輸出は2.0%(財務省予測)、輸入は7.0%上昇した。年初以来のオンタリオ州の輸出は前年同期間と比べて14.3%低下し、輸入は7.5%低下している。

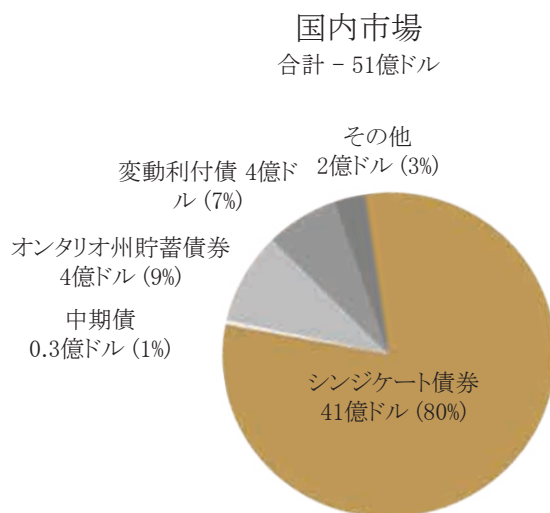
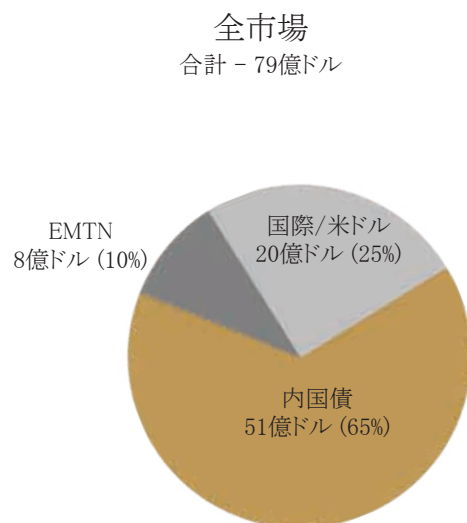
●● 借入のアップデート

| 2008-09 借入プログラム (10億ドル) | 中間 2007-08 | 予算 計画 | 現時* 見通し | 年間 変化 |
|----------------------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 赤字/(黒字) | (0.6) | 0.0 | 0.0 | — |
| 非現金調整項目 | (0.3) | (0.9) | (0.9) | — |
| 資本資産への投資 | 3.6 | 4.9 | 4.9 | — |
| 純貸付/投資 | 2.3 | 1.3 | 1.1 | (0.2) |
| 公債満期 | 13.5 | 20.5 | 20.5 | — |
| 債務償還 | 1.3 | 1.0 | 1.0 | — |
| 借入必要総額 | 19.8 | 26.9 | 26.7 | (0.2) |
| カナダ年金基金よりの借入 | (0.3) | (0.6) | (0.5) | 0.1 |
| 短期借入額の減額/(増額) | (1.4) | (2.0) | (2.0) | — |
| 現金及び現預金の増額/(減額) | (0.2) | (0.0) | (0.2) | 0.2 |
| 長期公的借入必要総額 | 18.0 | 24.3 | 24.3 | — |

注：四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。*上記は2008年6月30日現在の第1四半期財政見通しである。

純貸付/投資が2億減額したが、その主な原因はオンタリオ・パワー・ジェネレーション社(OPG) およびオンタリオ・スチューデント・ローン・トラスト(OSLT)への貸付が減少したこと、そしてその一部が大学への貸付の増額によって相殺されたことにある。よりコストの高い負債の買戻しのためにカナダ年金基金(CPP)の1億ドルを使用したため、この金額を州の長期借入必要額に充てることができなくなった。

借入アプローチ



- 2008-09年度の長期公的借入必要額は243億ドルである。2008年6月30日の時点で、借入プログラムのうち79億ドルが実行された。これには、総額20億米ドルの2つのグローバル債券と、英ポンド建て(2億ポンド)ならびにスイスフラン建て(4億2500万フラン)のユーロ中期債が含まれている。
- オンタリオ州は国内および国際市場双方の動向に注視し、借入に対する柔軟なアプローチを今後も継続する意向である。費用効率の高い借入機会を模索しながら、借入プログラムの約25%を国際市場で起債する予定である。
- オンタリオ州では大規模で多角的な経済を基盤に、ここ数年の厳しい外的要因にもかかわらず堅調な歳入増加を実現している。このことから、信用格付け機関(Aa1 Moody's/AA S&P、DBRS)は引き続き同州の債務状況を高く評価している。

中期借入見通し

オンタリオ州および OEFC

(10億ドル)

| | 2008-09 | 2009-10 | 2010-11 |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|
| 赤字/(黒字) | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 非現金調整項目 | (0.9) | (1.7) | (1.9) |
| 資本資産への投資 | 4.9 | 6.0 | 7.1 |
| 純貸付/投資 | 1.1 | 0.8 | 0.5 |
| 公債満期 | | | |
| 現在の未払分 | 20.5 | 14.6 | 10.5 |
| 将来の融資による増額分 | — | — | 1.7 |
| 債務償還 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |
| 借入必要総額 | 26.7 | 20.6 | 18.9 |
| カナダ年金基金よりの借入 | (0.5) | (0.7) | 0.0 |
| 短期借入額の減額/(増額) | (2.0) | 0.9 | 0.4 |
| 現金及び現預金の増額/(減額) | 0.2 | 0.0 | 0.0 |
| 長期公的借入必要総額 | 24.3 | 20.9 | 19.4 |

注：四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。*上記は2008年6月30日現在の第1四半期財政見通しである。

満期公債の借り換えおよび資本投資資金の調達、中期借入見通しの主な内容である。

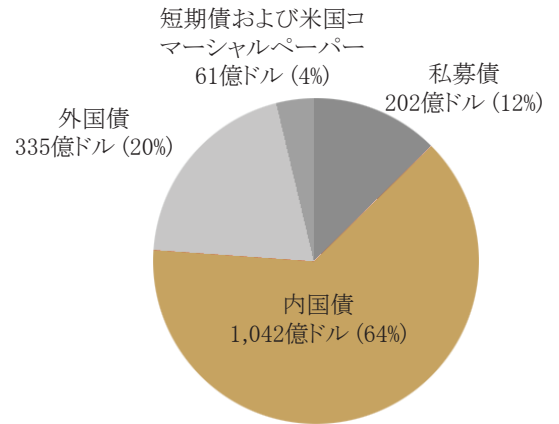
公債ポートフォリオ

- ・ 1,640億ドルの公債総額は、短期および長期の公募および私募の両方で発行された債券から構成されている。
- ・ 公債総額は1,438億ドルであり、主に11の通貨にて国内外の公債市場で発行された債券で構成されている。
- ・ またオンタリオ州は、202億ドルのカナダドル建て私募債による負債を負っている。私募債は、オンタリオ州の公共部門年金基金およびカナダ・ペンション・プラン投資委員会(CPPIB)に対して発行された債務証券から構成されている。

国際市場での通貨別の債券発行額:

- ・ カナダドル
- ・ 米ドル
- ・ ユーロ
- ・ スイスフラン
- ・ ニューージーランドドル
- ・ 英ポンド
- ・ 日本円
- ・ 豪ドル
- ・ 南アフリカランド
- ・ 香港ドル
- ・ 新トルコリラ

1,640億カナダドル



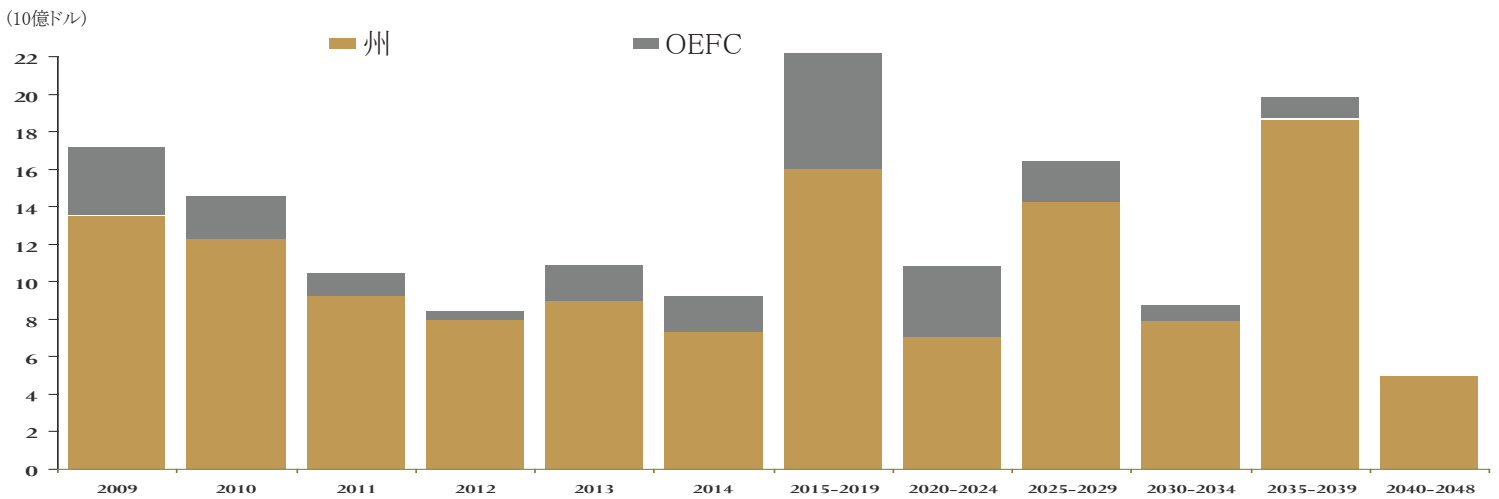
公債についての統計データ

| 公債 | |
|-----------------------------------|----------|
| 公債総額 | 1,640億ドル |
| 純負債額 ¹ | 1,462億ドル |
| 累積赤字 ¹ | 1,062億ドル |
| 純負債額 ¹ /GDP | 24.4% |
| 累積赤字 ¹ /GDP | 17.7% |
| 公債についての統計データ | |
| 公募債の割合 | 87.7% |
| カナダドル建ての割合 | 83.0% |
| 実効利率(加重平均) 2008年3月31日時点での中間見通し | 5.8% |

| リスクエクスポージャー (公債の%) | 現在 | 適用限度 |
|--------------------|--------|------|
| 州 | | |
| 純利率リセットエクスポージャー | 14.8 | 35.0 |
| 外貨為替エクスポージャー | 0.1 | 5.0 |
| OEFC | | |
| 純利率リセットエクスポージャー | (25.0) | 35.0 |
| 外貨為替エクスポージャー | 0.0 | 5.0 |

公債総額とは、公募債及び私募債をまとめた負債額を意味します。純負債額とは、債務総額と金融資産総額の差を意味します。
2008年5月31日時点 ¹2009年3月31日までの予測

公債満期



3月31日までの財政年度。2008年5月31日時点。

短期借入金及びその他の公債、将来の再融資による増額分を除く。オプション付き債券は可能な限り早期に償還するものとする。

オンタリオ州融資局は州の借入および公債管理を行うオンタリオ州の機関です。

連絡先

Investor Relations
Ontario Financing Authority
One Dundas Street West, Suite 1400
Toronto, Ontario M7A 1Y7
Canada

電話 (416) 325-0918
ファックス (416) 204-6694
www.ofina.on.ca
investor@ofina.on.ca